

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 27 年 2 月 26 日 (2015.2.26)

【公開番号】特開 2014-141146 (P2014-141146A)
 【公開日】平成 26 年 8 月 7 日 (2014.8.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-042
 【出願番号】特願 2013-9989 (P2013-9989)
 【国際特許分類】

B 6 0 T 13/12 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 T 13/12 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 6 日 (2015.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両の車輪に制動力を付与するホイルシリンダ (5 4 1 、 5 4 2 、 5 4 3 、 5 4 4) と、
 駆動液压室 (1 A) に入力されている駆動液压によりマスタピストン (1 4 、 1 5) が
 駆動されて前記ホイルシリンダにマスタ液压を出力するマスタシリンダ (1) と、
 パイロット液压室 (4 D) に入力されているパイロット液压に応じた前記駆動液压を前
 記駆動液压室に出力する機械式の駆動液压発生装置 (4 4) と、
 前記パイロット液压室に所望の液压を出力する電動式のパイロット液压発生装置 (4 1
 、 4 2) と、
 を備える液压制動力発生装置 (B F) に適用される制動制御装置であって、
 ブレーキ操作部材 (1 0) の操作量が所定値以下であるか否かを判定する判定手段 (6
 (6 1)) と、
 前記判定手段により前記ブレーキ操作部材の操作量が所定値以下であることが判定され
 ている場合に、前記パイロット液压発生装置を制御して前記パイロット液压室に、前記ホ
 イルシリンダ内の液压が実質的に大気圧に維持されるような値に設定された大気圧よりも
大きい液压を発生させるパイロット液压制御手段 (6 (6 2)) と、
 を備える制動制御装置。

【請求項 2】

前記ホイルシリンダが設けられている車輪に制動力が付与されることを予測する予測手
 段 (6 (6 3)) を備え、

前記パイロット液压制御手段 (6 (6 2)) は、前記予測手段により車輪に制動力が付
 与されることが予測されている場合に前記大気圧よりも大きい液压を発生させる請求項 1
 に記載の制動制御装置。

【請求項 3】

前記パイロット液压制御手段 (6 (6 2)) は、前記パイロット液压発生装置を制御し
 て前記大気圧よりも大きい液压に対応する予め設定された液量の作動液を前記パイロット
 液压室に供給する請求項 1 又は 2 に記載の制動制御装置。

【請求項 4】

前記駆動液压を取得する駆動液压取得手段 (7 4) を備え、

前記パイロット液圧制御手段（６（６２））は、前記駆動液圧取得手段により取得されている前記駆動液圧が前記大気圧よりも大きい液圧に対応する準備駆動液圧になるように、前記パイロット液圧発生装置を制御する請求項１又は２に記載の制動制御装置。

【請求項５】

前記パイロット液圧を取得するパイロット液圧取得手段（７７）を備え、

前記パイロット液圧制御手段（６（６２））は、前記パイロット液圧取得手段により取得されている前記パイロット液圧が前記大気圧よりも大きい液圧になるように、前記パイロット液圧発生装置を制御する請求項１又は２に記載の制動制御装置。

【請求項６】

前記パイロット液圧は、前記駆動液圧室に発生する液圧が、前記マスタピストンをその初期位置に向けて付勢する付勢部材（１４４）のセット荷重以下になるように設定される請求項１～５の何れか一項に記載の制動制御装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

請求項１に記載の発明は、車両の車輪に制動力を付与するホイルシリンダ（５４１、５４２、５４３、５４４）と、駆動液圧室（１Ａ）に入力されている駆動液圧によりマスタピストン（１４、１５）が駆動されて前記ホイルシリンダにマスタ液圧を出力するマスタシリンダ（１）と、パイロット液圧室（４Ｄ）に入力されているパイロット液圧に応じた前記駆動液圧を前記駆動液圧室に出力する機械式の駆動液圧発生装置（４４）と、前記パイロット液圧室に所望の液圧を出力する電動式のパイロット液圧発生装置（４１、４２）と、を備える液圧制動力発生装置（ＢＦ）に適用される制動制御装置であって、ブレーキ操作部材（１０）の操作量が所定値以下であるか否かを判定する判定手段（６（６１））と、前記判定手段により前記ブレーキ操作部材の操作量が所定値以下であることが判定されている場合に、前記パイロット液圧発生装置を制御して前記パイロット液圧室に、前記ホイルシリンダ内の液圧が実質的に大気圧に維持されるような値に設定された大気圧よりも大きい液圧（準備パイロット液圧）を発生させるパイロット液圧制御手段（６（６２））と、を備える。